



伊倉っ子
だより

【学校教育目標】

豊かな心と確かな学力を身に付け、
心身ともにたくましく生きる
児童の育成

伊倉小学校だより

第6号

令和7年6月30日

文責：校長 須藤 隆

感謝の気持ちを伝えよう

先日、6年生が道徳の勉強で感謝について学習した後、日頃お世話になっている人に感謝の気持ちを伝えた手紙を書いていた。私も6年生の子どもから、「私たちが安全に登校できるように毎朝正門前の横断歩道に立っていただき、ありがとうございます」という手紙をもらい、大変嬉しく思いました。

ご存知の方も多いかと思いますが、伊倉地区には子どもたちが安全に登校できるように見守ってくださる方々がたくさんいらっしゃいます。

地域の人や保護者を中心に「子ども見守り隊」として、ボランティアで毎日子どもの登下校時に各地区の横断歩道に立って、子どもの安全な登下校を見守っていただいています。

また、毎月1、10、20日には交通安全協会の方々が学校周辺の横断歩道に立ってくださっています。

伊倉駐在所の松岡さんは定期的に横断歩道に立ったり、地区の巡回をしてくださったりしています。

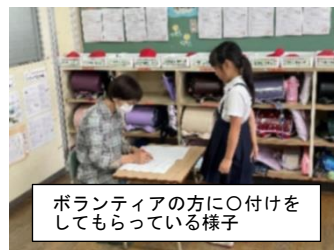
登下校の安全面だけでなく、毎月第1金曜は、「読み聞かせボランティア」による読み聞かせを、第2金曜は「○付けボランティア」による計算や漢字の○付け補助に、地域の人や保護者の方々に来校していただいています。

また、5年生の米作り体験活動では、毎年田上さんに、1年間を通してご協力いただきます。先日、田上さんが5年生にお米のことや農業のことなどのお話をしてくださりました。その後、敷地内の田んぼの田おこしをしていただきました。来週は、「しろかき」「田植え」が予定されています。

子どもたちが地域の人や保護者の方々に見守られて、安全で楽しい学校生活を送れていることに感謝ですね。伊倉小は地域の人や保護者の協力体制が素晴らしいと思います。たくさんの温かいご支援を当たり前と思わず、子どもたちにはそのありがたさを話していくことも大事だと思っています。



正門前で安全協会の方々に見守られて登校する様子



ボランティアの方に○付けをしてもらっている様子



田上さんによる田おこしを5年生児童が見学する様子

子どもたちも、先生たちも頑張っています！

本校では、子どもたちにとってより良い授業を目指して、先生たちみんなで授業を見合ったり、話し合ったりしながら日々勉強しています。今年のテーマは下記のとおりです。

伝え合い、学び合う児童の育成～対話力を身に付ける 国語「読むこと」の授業づくりを通して～



4年生の授業の様子

6月11日（水）に4年生の国語「一つの花」の授業を全職員で参観し、放課後には授業について話し合いをしました。授業では、4年生の子どもたちが自分の意見を互いに伝え合い、学び合うことができ、主体的に学習に取り組む姿が見られました。授業後の話し合いには腹赤小の井上指導教諭にも参加していただき、より専門的な立場からも助言をいただきました。



井上先生の話をしている様子

今後も、子どもたちにとってより良い学びの場が提供できるよう、職員一同研鑽していきます。

